

令和元年9月9日

保護者各位

鳥栖市立田代小学校
校長 宮原 純

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」結果の概要について(お知らせ)

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせいたします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることをご理解くださいますようお願いいたします。

1 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査について

平成31年4月18日(木)に、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象とした調査が実施されました。内容は、以下のとおりです。

(1) 教科に関する調査(国語・算数)
平成31年度(令和元年度)より、新学習指導要領の考え方に則して、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に調査されています。
(2) 生活習慣や学習環境に関する調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査。

2 教科に関する調査結果から全国平均と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

① 全体的な傾向について

- ・ 国語の平均正答率は、全国正答率を若干、下回っていましたが、ほぼ全国と同程度でした。
- ・ 観点別では、「言語についての知識・理解・技能」については、全国の平均正答率よりも若干、上回っていましたが、「書く能力」と「話す・聞く能力」は、全国正答率よりも下回っていました。書くこと、話す、聞くことについて、今後、より指導に力を入れていきます。
- ・ 短答式の問題では、全国正答率よりも若干、上回りましたが、記述式の問題では、やや下回るなど、課題が見られました。

② 内容面について

- ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題で、「調査のたいしょう」を「対象」と正しく書くことについては、全国正答率よりも上回るなど、漢字を正しく書くことについては、良好な結果でした。
- ・ 文と文との意味のつながりを考えながら、接続詞を使って文を分けて書く問題やことわざの意味を理解して自分の表現に用いる問題も、全国正答率を上回るできていました。
- ・ 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題に課題が見られました。事実と感想、意見などと区別し、簡単に書いたり、詳しく書いたりする学習活動を取り入れながら、児童の書く力をさらに高める指導に取り組んでいきます。
- ・ 目的に応じて、文章を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたんに、本や文章全体を概観して効果的に読む問題が、全国正答率よりも下回っていました。読む力を高めるため、に、段落ごとに書かれている内容を的確、簡潔に記述できる力を付けるように指導していきます。

(2) 算数について

① 全体的な傾向について

- ・ 算数の平均正答率は、全国正答率を若干、下回っていましたが、ほぼ全国と同程度でした。
- ・ 観点別では、「数量や図形についての知識・理解」は、全国正答率を上回り、基礎的、基本的な力が身に付いていることが分かりました。一方で、「数学的な考え方」や「数量や図形についての技能」では、全国正答率をやや下回っていたため、考える力を高めたり、計算の技能を習熟させたりすることについて、今後、力を入れて指導していきます。
- ・ 選択式の問題形式については、全国正答率を上回りましたが、記述式になると逆に下回る結果となりました。記述問題に挑戦させるなどして、問題を正しく理解させるだけでなく、与えられた文章や図、表などから、必要なことを考えたり、一定の条件の中で答えをまとめ上げる知的な能力を育てたりしていくように指導の改善を図ります。

②内容面について

- ・ 図形から台形を選ぶ問題や棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取る問題、示された計算の方法を解釈したり、計算しやす式にして計算する問題などは、全国正答率を上回ることができていました。
- ・ 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述したり、2つのグラフから判断できることを記述する問題など、記述を伴う問題に課題が見られました。記述問題に数多く挑戦させることはもちろん、問題から必要なことを「読み取る力」や簡潔に大事なことをまとめて「書くこと」についても力を入れて指導していきます。また、解いた後の見直しが、記述問題の克服に繋がることから、間違った問題の復習も大切にしよう指導していきます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

全58問の質問項目から、全国と比較したときに違いが見られた主な項目について

調査項目	本校の割合(%)	全国の割合(%)
自分にはよいところがあると思いますか？(どちらかと言えばを含む)	88.2%	81.2%
学校に行くのは楽しいと思いますか？(〃)	96.6%	85.8%
人が困っているときは、進んで助けていますか？(〃)	98.3%	87.9%
国語の授業では、目的に応じて自分の考えを話したり、書いたりしていますか？(〃)	89.9%	78.1%
算数の授業で学習したことを普段の生活で活用できないか、考えますか？(〃)	89.8%	76.5%
普段、1日あたり家庭での勉強時間が1時間より少ない。	42.4%	34.0%

- ・ 全58の質問の多くの項目で全国よりも高い割合で肯定的な答えが多く、良好な結果でした。
- ・ 自分のよいところがある、学校に行くのは楽しいと感じている子供の割合が高かったです。自己肯定感を高めたり、学校生活を楽しく過ごすことができることは、とても大切なことなので、さらにこれらの項目の割合が高めることができるよう指導に当たります。
- ・ 国語や算数に関する質問項目の多くでも全国に比べて、積極的に学ぼうとする意識が高いことが分かりました。
- ・ 全国に比べて劣った項目は、1日当たりの家庭での学習時間でした。表には示していませんが、3時間以上学習する子供の割合が全国では12.1%もいるのに対して、本校では6.8%と半分くらいしかいませんでした。逆に1時間未満しか勉強しない子供の割合は、全国が34.0%に対して、本校では42.4%と多かったことから、家庭での勉強時間が短いことが課題として見えてきました。今後、宿題の与え方について工夫すると共に自主学習の大切さについて、子供たちに指導していきたいと思えます。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・ 朝の時間に行っている「田代タイム」の国語で読む力、話す力、聞く力を育てること、算数では、基礎・基本の定着や活用力を高める問題に取り組みさせるよう、継続して指導していきます。
- ・ 授業では、子供たちの発言を大切に、自ら「まとめ」を行うことができるようにな手立てを取り入れたり、より意欲的、主体的な学びができるように今後も改善を図ります。
- ・ 家庭学習の充実に向けて、高学年では「自学」への取組を促していきます。また、学級通信等を利用して家庭と連携しながら、望ましい生活習慣や学習習慣の定着を図ります。

★ご家庭でお願いしたいこと（ご家庭でも次のようなことに心がけていただければと思います。）

1 家庭での学習時間をつくる。【低学年 30分 中学年40～50分 高学年 60～90分】

- ◎学習する時間帯を決め、学習習慣を身に付けさせましょう。（「家庭学習の手引き」を参考に）
- ◎テレビを見すぎたりゲーム等で遊びすぎたりしないよう、時間を決めておきましょう。
- ◎携帯電話やパソコンの使用についても、ルールを決めておきましょう。

2 生活リズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を上手に使う。

- ◎早寝、早起き、朝ご飯で、やる気のでる体と心を育てましょう。
- ◎学校での出来事や新聞やニュースで取り上げられた話題について話し合しましょう。

3 がんばった過程を認めほめて、さらに自尊心を高める。